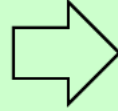


大区画化した水田の規模拡大となすの苗生産で農業経営 ～（有）ヨコエ～

経営体の概要

ほ場整備前：平成18年
基幹作物：水稲、なすの苗
経営面積：20.1ha



現在：平成29年
基幹作物：水稲、大豆、なすの苗
経営面積：23.1ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

平成10年に親から経営を引き継いだ際に法人化した。平成18年にはほ場整備が開始され、大区画化された水田を集積し経営規模の拡大を図った。水稲の他、高度な栽培技術を要するなすの苗生産を親の代から行っており、家族5人（法人の構成員）で肥培管理、接ぎ木、出荷等の作業に従事し、安定した農業経営を行っている。

営農改善のポイント

① 規模拡大・土地利用調整

事業を契機に中間管理機構を通して3.1haを借り受けた。ほ場整備により、0.3ha区画から1.0ha区画に大区画化された。筆数も1/3になり労力が大きく減少した。事業で用水がパイプライン化され、草刈り面積は減少し、また機械効率が向上したことで30～40%程度労力が軽減された。

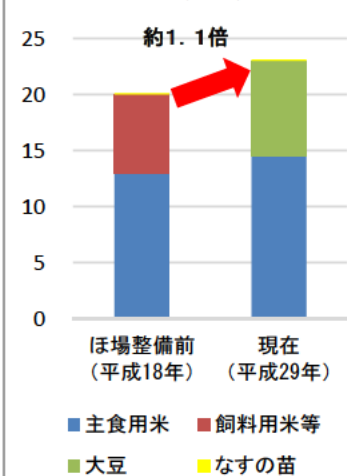
② 栽培技術

なすの苗生産は高度な栽培技術が必要であり、接ぎ木した苗づくりの栽培技術を先代から継承している。また、使用する薬剤等も日進月歩していることから新しい技術を導入している。水稲は8品種栽培し、減農薬減化学肥料の宮城県特別栽培米づくりに取り組んでいる。

③ 流通・販売の工夫

栽培している米の40%を契約栽培し無洗米として病院、老人ホーム等へ直売している。また、なすの苗は、全て種苗会社との契約栽培を行っている。

(ha) 作付面積の変化



事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：大崎市、美里町、加美町
受益面積：4,621ha
事業期間：昭和62年～平成17年
事業目的：用水改良、排水改良、区画整理
主要工事：頭首工4箇所、排水機場1箇所
用水路L=20.2km、排水路L=0.4km

位置図（宮城県）



大崎西部地区

<問い合わせ先>

東北農政局
農村振興部農地整備課
電話：022-263-1111
(内線4460)

(平成29年度調査時点)